

－記入例－

【整理票】

〔整理番号〕：

〔作目区分〕：野菜
〔専門区分〕：栽培
〔提起年度〕：令和7年度
〔タイトル〕：イチゴ新品種「紅い雫」の栽培技術の確立

〔課題提起の背景と技術開発目標〕

- 提起機関名：〇〇地方局 〇〇課 〇〇室
- 記述者（連絡先）：氏名 係長 〇〇 〇〇
(TEL：089-※※-※※、E-mail：〇〇〇@pref.ehime.jp)
- 発生の時期：平成28年～
- 発生している地域：〇〇市 △△町 〇〇戸 〇〇ha
- 作物・品種等問題の対象：イチゴ
- 問題の程度と規模：
△△町のイチゴは、品種「□□」を中心に〇〇ha栽培されているが、「□□」は低糖度で着色も悪く市場価格が低下しており、農家所得の向上につながりにくい。そこで、愛媛県育成の新品種「紅い雫」への更新が検討されており、速やかな栽培技術の確立が望まれている。
- 発生地域の営農・経営・技術の現状：
△△町のイチゴ栽培面積は〇〇ha、生産量は〇〇tである。近年、高齢化等により栽培面積が減少し、また品種「□□」は品質が低下し、市場評価も得られていない。
- 技術開発の目標：新品種「紅い雫」の栽培技術の確立
- 期待される効果：農家所得の向上と産地拡大が期待される。

要
請
事
項
記
入
欄

〔課題に対する意見〕

- 記入機関名：〇〇課
- 課題の重要性、必要性等：
県育成品種「紅い雫」は、ブランド化による生産拡大を進めており、県下全域に栽培拡大を図るうえでは早急な技術確立が必要であり、試験研究での課題解決が求められる。

〔研究の現状と今後の課題〕

- 回答機関名：農林水産研究所 〇〇研究センター
- 記述者（連絡先）：〇〇室 主任研究員 〇〇〇〇
(TEL：089-993-2020 E-mail：)
- 研究の現状：
これまでの所内試験や現地試験の結果より、新品種「紅い雫」は開花収穫始が早く、果実品質（果形の揃い、着色）、食味に優れた系統であるものの、栽培特性が十分には解明できていない。また、頂果房の花数が少ないため年内収量の確保が難しい、ランナーの発生が少ないため苗の増殖が難しいといった問題点が明らかとなっている。
- 今後の対応：
新規課題により、花芽分化時期の確認と適期定植した場合の収量・品質の解明、適正施肥量の解明（基肥を増やした場合の頂果房の果実品質、腋果房の開花遅延に対する影響）、年内収量の増収技術の開発、ランナー発生を促進する技術開発など、新品種「紅い雫」の高品質安定生産技術を、早急に確立する。
- 関連試験研究課題：なし
- 参考文献：なし

所
管
課
記
入
欄

研
究
機
関
回
答
欄

〔課題設定の是非〕：A